

# SOLIDの実行時アドレスバグ 自動検出機能を使ってみよう！

2018.06.07

京都マイクロコンピュータ

# 実行時アドレスバグ 自動検出機能

何ができるか

# 実行時アドレスバグ自動検出

- スタックオーバーフロー (※MMU)
- 不当アクセス、不当実行 (※MMU)
- 配列オーバーラン (※アドレスサニタイザ)
- 開放済みメモリへのアクセス (※アドレスサニタイザ)

※MMU

Cortex-A CPU のMMUを活用した機能 (使い方は別紙)

※アドレスサニタイザ

Clangコンパイラの機能を活用した検出機能 (使い方は別紙)

# 詳しい仕組みの解説は...

- SOLID アカデミーの記事を参照してください

<https://solid.kmckk.com/SOLID/archives/2757>

以上です

